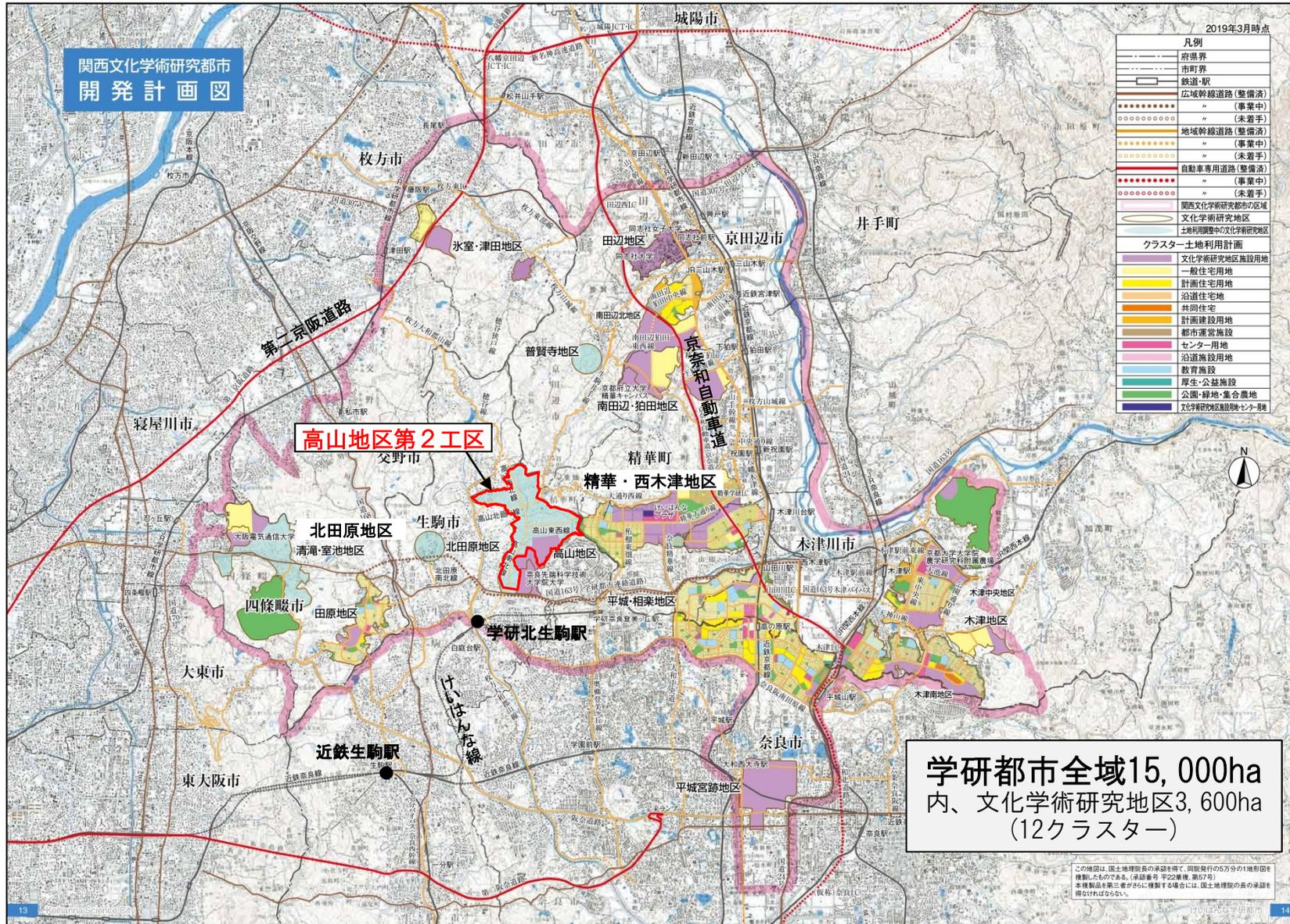


学研高山地区第2工区の位置づけ

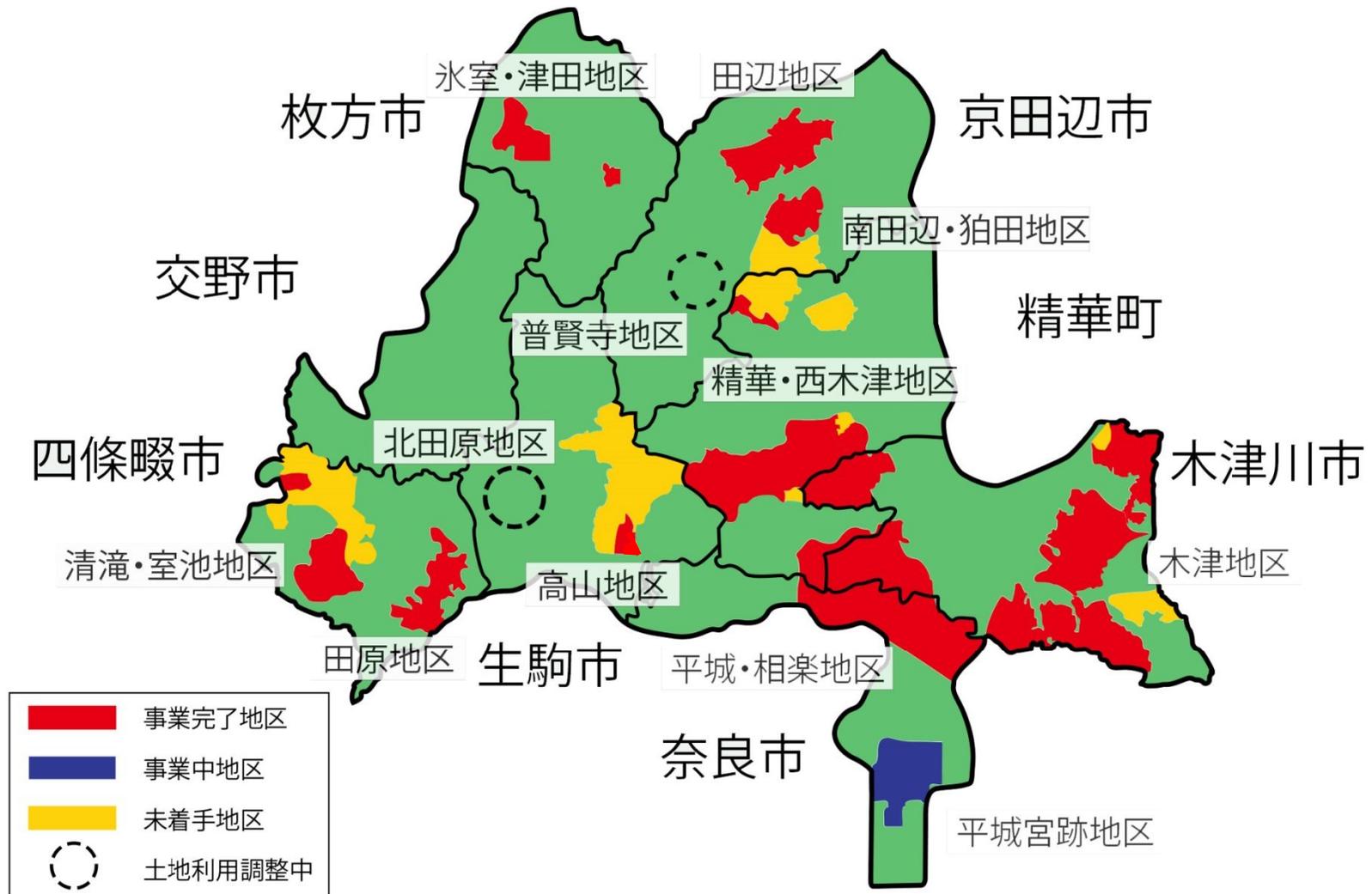
I. 関西文化学術研究都市とは

(i) 開発計画図 (2019年3月時点)



I. 関西文化学術研究都市とは

(ii) 各クラスターの整備状況 (2019年3月現在)



I. 関西文化学術研究都市とは

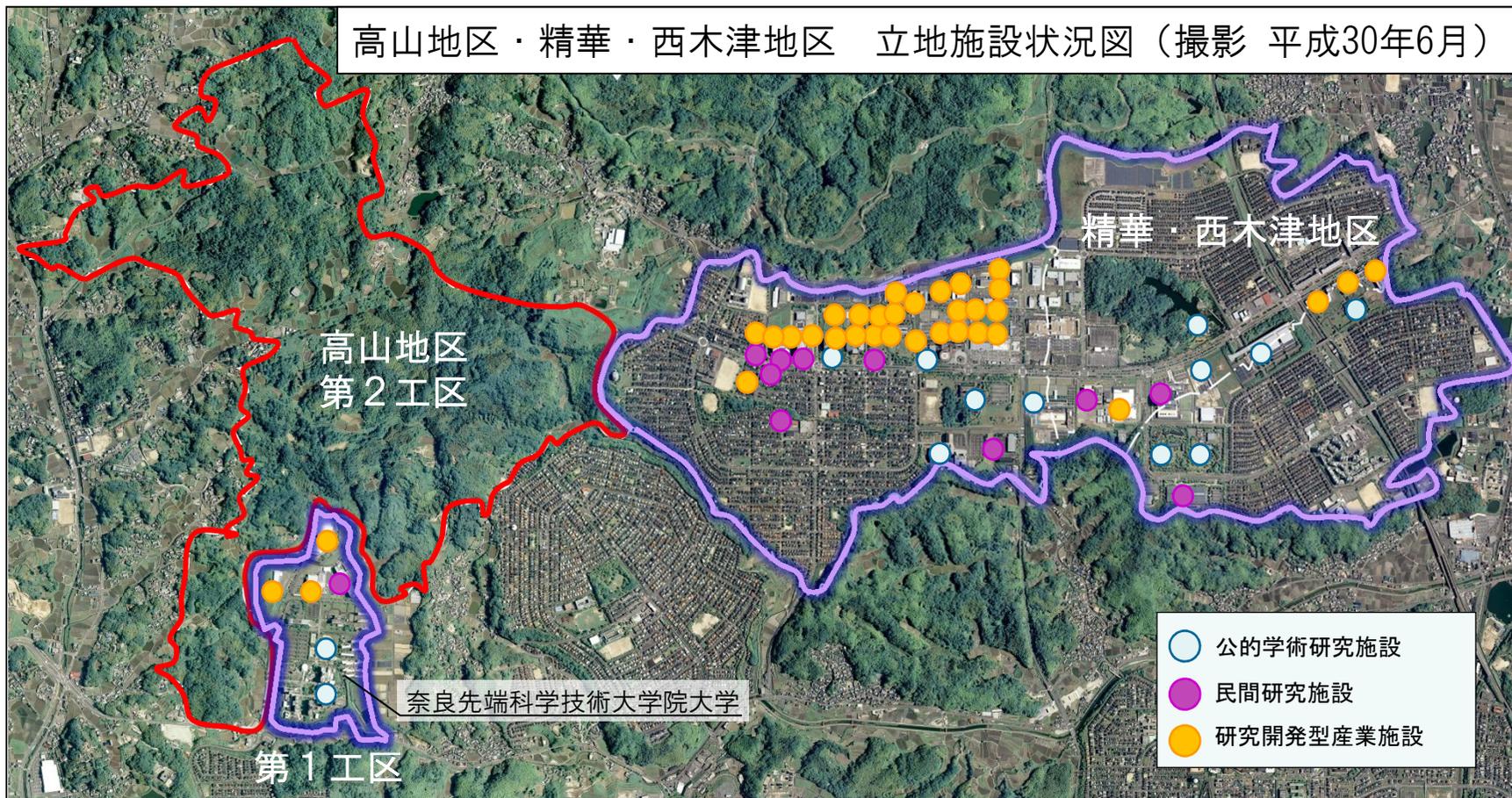
(iii) 提言・構想期から現在までのステージ

S53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	……
* 関西学術研究都市調査懇談会発足		* 関西文化学術研究都市建設推進協議会設立		* 関西文化学術研究都市建設促進法公布施行				* セカンド・ステージ・プラン策定										* サード・ステージ・プラン策定					* 新たな都市創造プラン策定																		
企画立案 合意形成 調査研究 立地促進 交流支援 情報発信		* (財) 国際高等研究所設立 * 国際電気通信基礎技術研究所開所										* 国際高等研究所開所 * 地球環境産業技術研究機構開所					* 国立国会図書館関西館開館 * けいはんな情報通信融合研究センター開所 * 光子科学センター研究所開設					* けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)開所 * 京都大学大学院農学研究科附属農場開所																			
		* 同志社大学・同志社女子大学田辺校開校					* 奈良先端科学技術大学院大学開校					* 大阪大学大学院工学研究科自由電子レーザー研究施設開所 * 京都府立大学農学部附属農場開所					* 同志社大学学研都市キャンパス開校 * 京都府立大学精華キャンパス開校					* 理化学研究所「iPS細胞創薬基盤開発連携拠点」開所																			
新産業の創出 地域産業の振興 広域連携												* 京都府「けいはんなベンチャーセンター」開設					* 知的クラスター創成事業選定					* 国際戦略総合特区に選定 * 都市エリア産学官連携促進事業採択					* ヘルスケア開発地に指定 * 世界に誇る地域発研究開発・実証拠点推進プログラム採択														
		* (財) 関西文化学術研究都市推進機構設立																				* けいはんな新産業創出・交流センター設立 * 推進機構・センターが統合					* RDMM支援センター設立 * 推進機構が公益財団法人へ移行														

出典：公益社団法人 関西文化学術研究都市推進機構 パンフレット 2019.3版 より作成

I. 関西文化学術研究都市とは

(iv) 主な立地施設状況



出典：独立行政法人都市再生機構資料より作成

I. 関西文化学術研究都市とは

(v) 主な立地施設状況



主な立地施設

- 01 けいはんなプラザ
- 02 (株)国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)
- 03 国立国会図書館 関西館
- 04 (公財)国際高等研究所 (IIAS)
- 05 (公財)地球環境産業技術研究機構 (RITE)
- 06 同志社大学 (学研都市キャンパス)
- 07 オムロン(株)イノベーションセンター
- 16 NTTコミュニケーション科学基礎研究所
- 17 パナソニック(株)イノベーション推進部門
- 18 (国研)情報通信研究機構 (NICT)ユニバーサルコミュニケーション研究所
先進的音声翻訳研究開発推進センター
- 19 京セラ(株)中央研究所
- 20 (株)島津製作所 基礎技術研究所

近年の立地施設

46 けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)	
47 サントリーワールドリサーチセンター	平成27年度 4社
48 大幸製薬(株) 京都工場・研究開発センター	
49 SEW-オイロドライブ・ジャパン(株)京都オペレーションセンター	
50 モリテックスチール(株)けいはんなR&Dセンター	平成28年度 2社
51 (株)オリエンタルペーパー 京都工場	
52 日本電産(株) 生産技術研究所	平成29年度 3社
53 (株)三菱UFJ銀行 関西ビジネスセンター	
54 (株)スプレッド テクノファームけいはんな	
55 日本郵政グループ 事務センター	令和元年10月 竣工予定

I. 関西文化学術研究都市とは

(vi) 主な立地施設状況



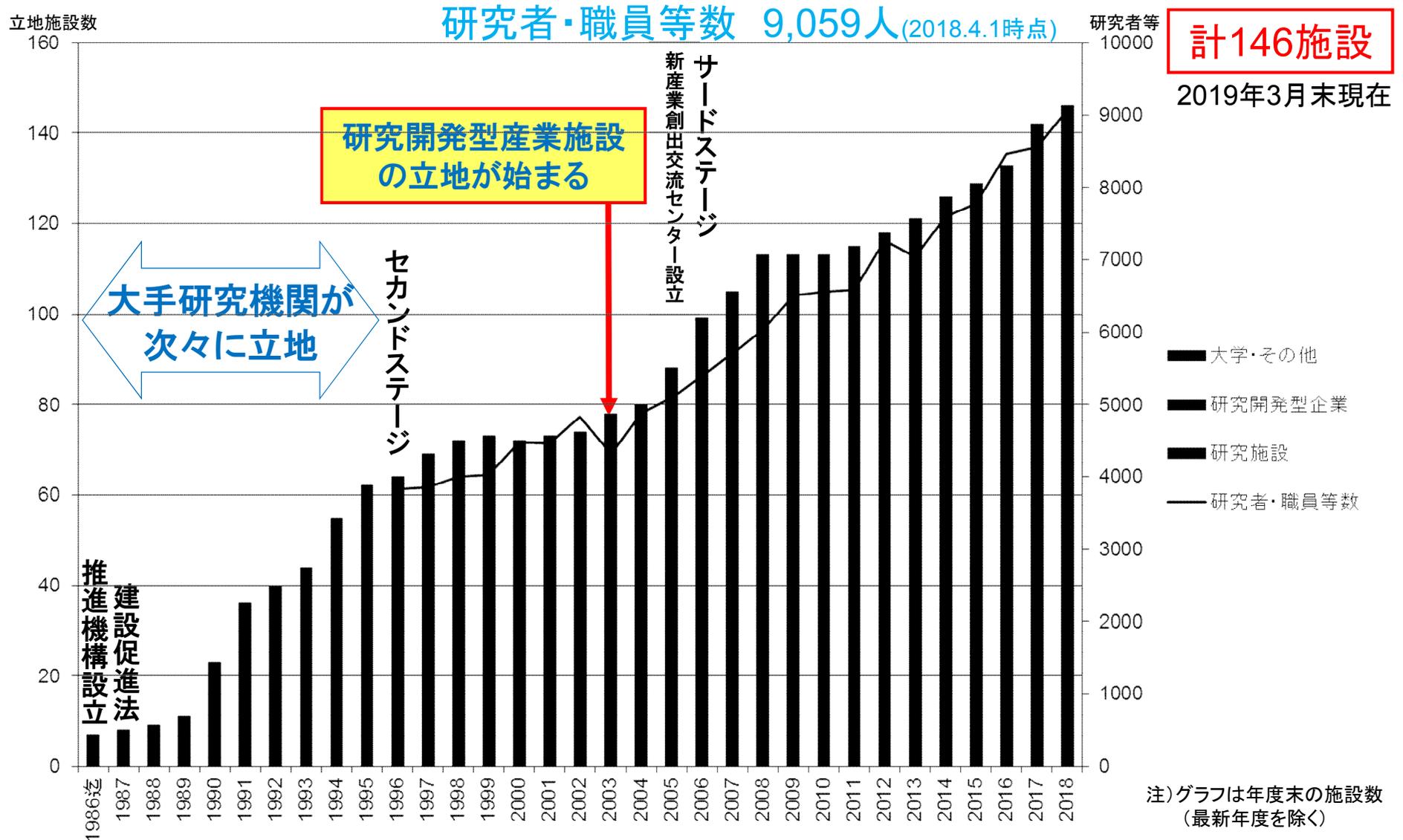
立地施設

- 01 国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学
- 02 高山サイエンスプラザ（研究交流施設）
- 03 参天製薬(株)奈良研究開発センター
- 04 上六印刷(株)
- 05 株Burley plus
- 06 高山竹林園
- 07 株芦田製作所 本社工場

出典：公益社団法人 関西文化学術研究都市推進機構 総合パンフレット 2019.3版

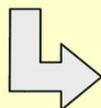
I. 関西文化学術研究都市とは

(vii) けいはんな学研都市の集積状況（立地施設）

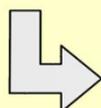


II. 学研高山地区の位置づけ

(i) 関西文化学術研究都市建設促進法 (昭和62年6月9日 法律第72号)
(改正 平成11年法律第76号、87号、160号)



国の関西文化学術研究都市の建設に関する **基本方針**
(昭和62年9月)



第5条第1項の規定に基づき、奈良県が作成
関西文化学術研究都市（奈良県域）の **建設に関する計画**
(昭和63年3月)

けいはんな学研都市新たな都市創造委員会

(ii) 新たな都市創造プラン (平成28年3月)

奈良県全体の都市計画の指針

(iv) 奈良県都市計画区域マスタープラン (平成23年5月)
(令和元年度改定予定)

生駒市政全般の総合的な指針

(iii) 第6次生駒市総合計画 (平成31年)

(v) 生駒市都市計画マスタープラン (平成23年3月)
(変更 平成26年9月)
(令和2年度改定予定)

生駒市の都市計画・まちづくりの指針

Ⅱ. 学研高山地区の位置づけ

(i) 関西文化学術研究都市建設促進法

○目的

文化、学術及び研究の中心となるべき都市を建設し、もって我が国及び世界の文化等の発展並びに国民経済の発達に資することを目的としている。

○国の関西文化学術研究都市の建設に関する基本方針（法第3条）

1 文化学術研究地区の配置

・奈良県域

平城宮跡地区、平城・相楽地区のうち奈良県域、高山地区、北田原地区

○関西文化学術研究都市（奈良県域）の建設に関する計画（昭和63年3月策定）

【変更】（平成9年7月変更承認）

高山地区第2工区の開発計画を位置付け

II. 学研高山地区の位置づけ

(ii) 新たな都市創造プラン（平成28年3月）



出典：公益社団法人関西文化学術研究都市推進機構

ビジョン実現に向けた4つの取組み

- ① 科学技術と文化の融合で知のフロンティアを開拓
- ② オープンイノベーションで世界に展開
- ③ 世界に先駆けスマートな暮らしを育む次世代インフラ整備を促進
- ④ 相乗効果を生み出すネットワーク型運営体制の構築

Ⅱ. 学研高山地区の位置づけ

(ii) 新たな都市創造プラン（平成28年3月）

①科学技術と文化の融合で『知のフロンティアを開拓』

- 大学や研究機関等が相互に連携しながら、新たな知のフロンティアを開拓
- 持続可能社会に向け、環境・エネルギー、人口・食糧・水問題、医療など先端的な研究の展開を促進
- 大学・研究機関と立地企業等の連携による人材育成を促進

②『オープンイノベーション』で世界に展開

- マーケットを見据えた研究開発戦略構築やオープンイノベーションを基軸にプロジェクトの創出と推進を一元的にサポートできる新たな仕組みを構築し、科学技術を活用した産業化を促進
- 海外の教育・研究機関、企業の誘致を促進。居住・教育・就労などの受入れ環境を整備
- けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)やインキュベーション施設、大学・研究機関との連携強化

③世界に先駆けスマートな暮らしを育む『次世代インフラ整備を促進』

- ICTを環境・エネルギー、交通、イノベーションなどに活用して新たなライフスタイル（スマートな暮らし）を育成
- 歴史文化資源や自然環境を活かし、都市の魅力を一層向上
- 関空や大阪などへのアクセスやネットワークの強化を図るため、学研都市連絡道路（国道163号）などの主要道路の未整備区間の整備を促進
- ICTを活用した次世代型の連節バスなど、モビリティを高める新交通システム等の展開

④相乗効果を生み出すネットワーク型運営体制の構築

Ⅱ. 学研高山地区の位置づけ

(iii) 第6次生駒市総合計画（平成31～令和5（2023）年度）

■基本構想 将来ビジョン（抜粋）

将来都市像

- ・奈良先端科学技術大学院大学等に加えて、学研高山地区第2工区の整備の進展により、様々な文化学術研究・交流施設の立地が進み、学術研究やビジネスにおける交流の活発化が期待されるとともに、往馬大社、長弓寺、宝山寺、高山茶釜など、古くから伝わる多くの歴史文化資源の価値が再認識されることで、国内外の人々の観光や交流につながることも期待されます。

■基本計画 施策の大綱（抜粋）

適切な土地利用の推進・学研都市との連携

- ・学研高山地区第2工区については、自然環境に配慮しつつ、地域のもつポテンシャルを活かしながら、新たなまちづくりに向けた取組を進めていきます。また、奈良先端科学技術大学院大学や研究機関と連携しつつ、学術研究機能の集積を進め、知的資源を活かした特色あるまちづくりを推進します。

Ⅱ. 学研高山地区の位置づけ

(iv) 奈良県都市計画区域マスタープラン（平成23年5月）

（改訂作業中）

■都市の将来像（抜粋）

- ・ 関西文化学術研究都市では、歴史文化遺産・歴史的風土・自然環境に恵まれた本県の特性を活かし、文化・学術・研究及び新たな産業の創出を牽引する機能の整備を図る。また、先端的学術成果を世界に向けて発信する機能の整備を図り、その学術成果を生活の中で実践するようなまちづくりを図る。

■関西文化学術研究都市の建設に関する方針（抜粋）

- ・ 本県においては、文化学術研究地区として配置された〈略〉高山地区等について、県が定める「関西文化学術研究都市の建設に関する計画（奈良県域）」に基づき、必要な整備を図る。

■商工業の振興に関する都市計画の方針（抜粋）

○産業活動の振興に資する都市づくり

- ・ 関西文化学術研究都市の交流・連携の推進を図るため、生駒市高山地区の整備や京阪奈新線、国道163号清滝生駒道路（学研都市連絡道）の整備を促進する。

Ⅱ. 学研高山地区の位置づけ

(v) 生駒市都市計画マスタープラン（平成23年3月）

（変更 平成26年9月）

（改訂作業中）

■生駒市を取り巻く社会環境の変化（抜粋）

- 人口減少・少子高齢社会の到来
- 環境配慮や持続可能なまちづくりの重要性
- 効率的・効果的な都市運営の必要性

■土地利用の方針（抜粋）

交通利便性や都市機能集積を活かし産業振興を先導する土地利用の推進

■まちづくり方針（抜粋）

○地域拠点整備の推進（学研北生駒駅）

学研高山第2工区の将来の方向性について検討・調整を図りつつ、学研都市の玄関口としての役割や整備方向を検討していきます。

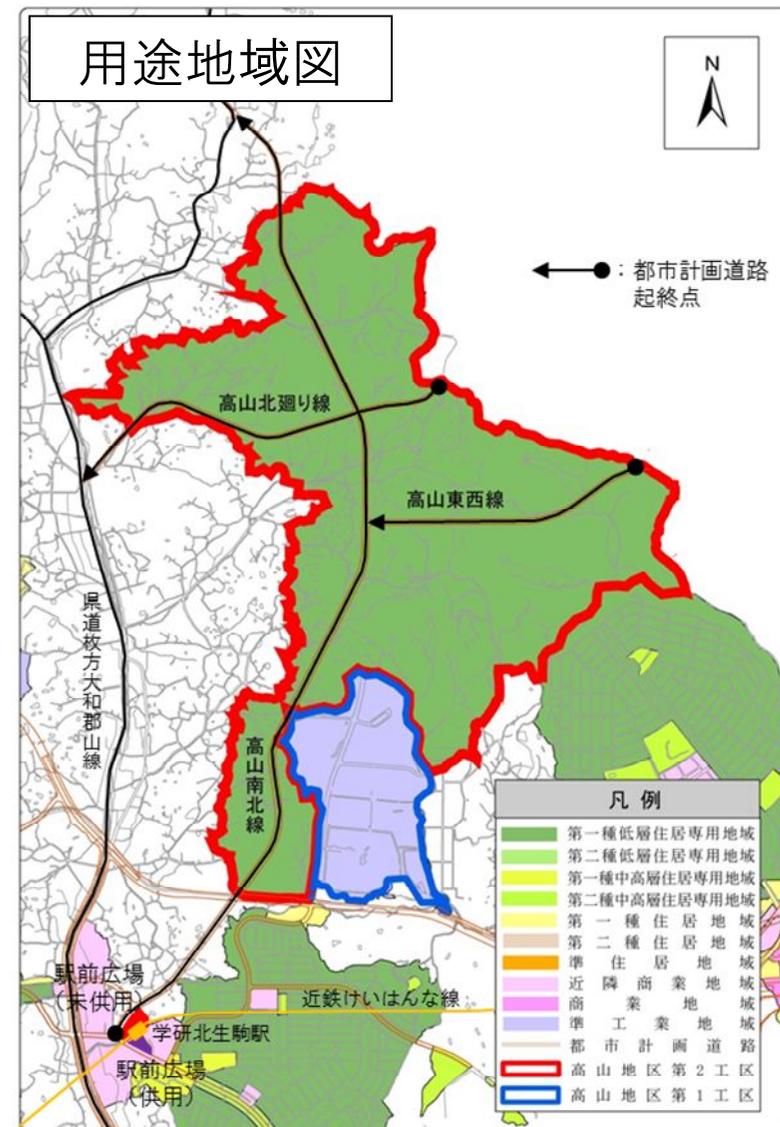
■北部エリアのまちづくりの方針（抜粋）

北部地域拠点や学術・研究・産業拠点機能の強化

Ⅲ. 学研高山地区の現状

(i) 現在の都市計画

都市計画の内容		決定権者	告示日
区域区分	市街化区域	奈良県	平成12年 11月10日
市街地 開発事業	土地区画整理事業	奈良県	
促進区域	土地区画整理促進区域	生駒市	
地域地区	第一種低層住居専用地域 (容積率60%、建ぺい率40%、外壁後退1.5m)	奈良県	
	生産緑地地区	生駒市	
都市施設	高山南北線 (4車線・幅員29m) 駅前広場 (A=約8,950㎡)	奈良県	平成14年 8月30日
	高山東西線 (2車線・幅員22m)	生駒市	
	高山北廻り線 (2車線・幅員18m)	奈良県	



出典：生駒市資料より作成